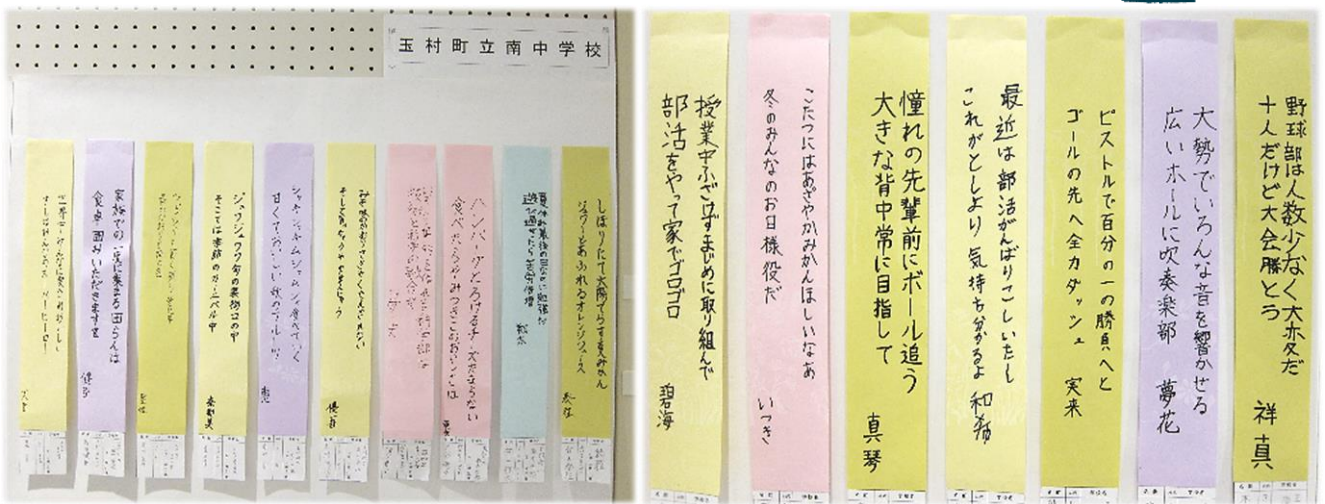


# 学校だより No.32

## ☆群馬県児童生徒短歌展

11月末に土屋文明記念文学館(高崎市)の主催による短歌の授業を1年生が行いました。歌人の東直子先生を招いて生徒が作った短歌を講評していただきました。

さて、土屋文明記念文学館では、現在「群馬県児童生徒短歌展」が開催されており、1年生が作った短歌を展示しています。先日、作品を見に行ってきましたが、なかなかの力作が展示されていました。



どの作品も、その時に感じた気持ちを、五・七・五・七・七、三十一文字の中に込めていますが、個人的に上手だなと思った作品は、次の作品です。

「追いかけた 舞い散る桜の木の下で 古びたカバンを持つ新学期」



他にも1年生の作品がたくさん展示されています。「群馬県児童生徒短歌展」は1月8日(日)まで開催していますので、お時間がありましたらぜひご覧ください。

## ☆南中生の活躍

【玉村町「親子でチャレンジ! 我が家の自慢料理を作ろう!」】

＜優秀作品＞

1年 木村 健太郎 「すいとん」

2年 前田 康輔 「豚ばら肉と玉ねぎの甘煮」



## ☆ 目標を持つ

3年生の授業中の様子を見ていると、以前と比べて集中し、ピシッと引き締まっている感じがします。それはなぜでしょうか。それは、目の前にしっかりした目標があるからです。

今、自分が何をしなければならないか。「こんなことをやっている場合じゃない。こういう風に意識してすごさなければ。」というものを持っているからです。



3年生は受験まただ中です。間近に大きな目標があり、わき目も振らず、まっしぐらに突き進んでいかなければならない時です。3年生の皆さんは、どの高校を受験するかを決めて準備をしているところでしょう。

人は目標がはっきりすると、何をしなければならないかが見えてきます。皆さんは、今年、体育祭や合唱コンクール、持久走大会に、どんな気持ちで取り組みましたか？ 優勝や最優秀賞を目指して、クラスの一人一人が真剣に取り組んだのではないですか？ 三大会の皆さんのがんばりは本当に素晴らしかった。目標があると、皆さんはとてもすごい力を発揮します。

受験や行事に限らず、例えば、部活動についても、目標がしっかりしている人は、顧問の先生がいなくても、30分や40分しかできない今の状況をしっかり考えて活動しているでしょう。何が足りなくて、どんな力を付けなければならないかを確認しながら、時間をダラダラ過ごさず、集中して取り組んでいると思います。



今はほとんどの学校の下校時刻が5時です。どの学校も放課後は30～40分程度しか練習できません。とすれば、「どれだけ真剣に取り組んでいるか」「どれだけ気をゆるめずに毎日きちんと向き合っているか」で差が付くのだと思います。1日の練習はわずかですが、その積み重ねは、春に大きな差となって表れるのだと思います。

自分の目標がはっきりしている人は、目指す自分の姿を想像して努力します。「僕は、あの高校に入って、全国大会に出場するんだ」とか、「この冬の間に、他の学校のライバルに差をつけて、春には優勝するんだ」とか、「高校で資格を取って、将来こういう仕事に就くんだ」など、自分の夢や希望が実現した姿、目標の姿を思い浮かべながら、準備をします。



反対に、自分の目標や目指そうとしていることがしっかりしていないと、今、何が足りなくて、何をしておかなければならないかが分かりません。何となく過ごしてしまいます。

例えば勉強のことでは「今やろうと思ってたのに、言われたから気分が乗らない」とか、「今日は数学の気分じゃない」などと不平不満を言って、結局はダラダラ過ごしたりします。部活動でいうと、「この練習に何の意味があるのか」とか、「走ってばかりじゃ、技術がつかない」などと練習に真剣に取り組めなかつたりします。



さて、目標がはっきりしている人は、この冬休みに、もう一度、自分の目指すものを確認しましょう。まだ、目指すものが見つからない人は、目指すものを考えてみましょう。目指す姿を思い浮かべながら、勉強も部活も真剣に取り組んでいきましょう！